

# 地域のよさを生かし手を取り合って子どもを育てる

## 越前市味真野小学校

### 1 取り組みの概要

#### (1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	3回
中学校区を単位とした協議会	1回
地域及び家庭への学校公開	7回(のべ) 7日

#### (2) 地域人材の活用(のべ人数)

講師・ゲストティーチャー	64人
授業ボランティア(含:低ボラ)	500人
登下校支援ボランティア	3,864人
その他( )	人

#### (3) 特色ある活動

テーマ「	ふるさと教育	」
------	--------	---

#### 具体的活動内容

本校の周辺地域は、山々や田畑等の自然があふれ、由緒ある寺院や史跡といった歴史や文化にも恵まれています。また、伝統的な産業や施設も存在しており、特色ある学校づくりを目指した学校教育の様々な取り組みの中でそれらを生かすようにしています。

##### 学習活動

二年生生活科の学習で町探検、五年生総合的な学習で米作り等では、保護者の方や地域の方の指導を仰ぎながら実りあるふるさと学習ができています。

##### 児童の活動

全校児童の縦割り班で異学年の交流活動を活発に行っています。高学年のリーダー性の育成や、協力と思いやりの心を育てることを目的としていますが、「茶摘み」「クリーンアップ大作戦」など積極的に地域に出ています。

##### クラブ活動

「越前万歳クラブ」は、地域の伝統芸能を保存会の方の指導で練習しています。その成果を学習発表会や地区文化祭等に発表し、ふるさとのよさを発見する機会となっています。

##### P T A 活動

五月「万葉まつり」の子ども御輿の参加を始めとして、資源回収等、地域に出て積極的に触れ合う機会を充実するよう心掛けています。中でも、「両親学級」は親と子が共に活動することで、家族の絆を深めることもねらいとし、地域学校協議会委員の協力を得ながら企画運営をしています。

年二回ある両親学級の一回目は「親子で聞く講演会」を、二回目は「親子で体験福井の四大工芸品」と題し、越前焼(粘土でオリジナル陶器作り)と越前漆器(写真立てに蒔絵筆を使って描く)、越前打刃物(ペーパーナイフ作り)、越前和紙(紙漉和紙でオリジナルうちわ作り)といった伝統工芸品を体験しました。各コースとも関係施設や講師との折衝から、準備物や会場作りなど全てにおいてP T A 役員と教職員が協力して行います。



#### 成果と課題

学校公開日や主要な学校行事を、月に一度は学校に来ていただき学校を実感していただく機会と捉えて、計画的に設定したり休日開催としたりして開かれた学校づくりを目指しています。学校運営についてP T A や地域学校協議会委員、学校支援ボランティアの方々の熱心なるご意見を拝聴しながら信頼される学校を構築し、地域を愛し地域に愛される子ども達が育っています。

A 4 版 1 ~ 2 枚程度で作成してください。